

地球のワクワク！発見しよう

こどもエコクラブ

私が主役！なかまと一緒に未来をつくる

2016年度 事業実施報告書



公益財団法人日本環境協会
こどもエコクラブ全国事務局

はじめに

2015年12月に採択されたパリ協定が2016年11月に発効し、全ての国が参加する温室効果ガス削減の取り組みが動き始めました。また、2030年の達成を目指す国連の持続可能な開発目標(SDGs)が多くの企業や団体に認知され、経営戦略に組み込む企業も出始めています。国内では持続可能な開発のための教育(ESD)に関するグローバル・アクション・プログラム実施計画(ESD 国内実施計画)が公表され、2016年4月には様々なステークホルダーが分野横断的に連携・協働してESDを推進するESD活動支援センターが設置されました。地域の衰退と、環境保全の担い手の減少が続く我が国においても、地域と関わり、地域を学び、地域に愛着を持つとともに地域に貢献する人材育成がますます重要性を増しています。こどもエコクラブは、地方自治体、企業・民間団体が連携・協働し、それぞれがメリットを享受しつつ持続可能な地域づくりを担う人材育成を進めています。

こどもエコクラブは、2011年度に環境省の後援、文部科学省の支援のもと、地方自治体、企業・民間団体の協働取組として再スタートしました。2016年度は2,013クラブが登録し、113,920人の子どもたちが全国各地で様々な環境活動に取り組みました。79(2015年度から28増)の企業・民間団体が協賛、寄附およびプログラムの共同事業等でご支援くださったほか、504の地方自治体に地域事務局として地域活動を支えていただきました。

2016年度も、環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり、環境活動・学習の活性化促進、環境活動・学習の意欲の向上・ステップアップの3つの柱に基づき、クラブへのサポートや企業・自治体との連携・協働など様々な活動を行いました。

4月に発生した熊本地震では、被害の大きかった益城町に長年活動するクラブがあったことから、全国事務局として初めて用途を限定した募金の呼びかけを行い、みなさまから150万円ものあたたかいご支援をいただきました。いただいた募金で被災したクラブへの応援メッセージを織り込んだマフラータオルと、災害に遭った子どもたちの生の声を集めたメッセージブックを作成しました。今後のクラブの活動や防災への備えに役立てていただきます。

毎年恒例の全国フェスティバルには、史上最多の619名のご参加をいただきました。壁新聞をもとにクラブの活動を発表、取材し合う「エコ活セッション」でクラブ同士の交流を深め、パートナーのクラブを称えるオリジナルの賞状を作って表彰式を行いました。世界に一枚だけの、心のこもった賞状は、きっとこれからの活動の励みになることでしょう。

こどもエコクラブ全国事務局は、将来を担う世代の育成のために多様な組織や人の参画と協力のもとにこどもエコクラブ事業を継続・発展させる取組を2017年度以降も推進して参ります。引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

こどもエコクラブ全国事務局



目次

◎ はじめに	3
◎ こどもエコクラブのビジョン・ミッション	5
◎ 2016 年度のハイライト	6
◎ 事業報告	10
○ 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり	10
(1) こどもエコクラブの認知度向上	
(2) こどもエコクラブへの登録促進	
○ 環境活動・学習の活性化促進	16
(1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供	
(2) 教材・プログラムの提供	
(3) 活動レポート、壁新聞へのフィードバック	
(4) 企業との協働推進	
(5) All Japan Youth Eco-club	
○ 環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ	24
(1) 地域活動活性化	
(2) 全国規模での交流と顕彰	
◎ 地域事務局の取組事例	28
◎ 協賛・協力いただいた企業・団体	33
◎ 登録データほか	34
◎ エコ活コンクール 受賞作品	38

◎ こどもエコクラブのビジョン・ミッション

「こどもエコクラブ」は以下のビジョンとミッションを掲げ、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的として、幼児(3歳)から高校生までの子どもたちを対象に、子どもたちの自主的な環境活動をサポートしています。

◎ ビジョン(=理想の未来)

だれでも参加できるこどもエコクラブが学校、市民グループ、企業等各主体をつないで、持続可能な地域社会に向けて活動を行っている。

◎ ミッション(=なすべきこと)

1. 環境学習・環境保全活動を通じて、子どもたちの「未来を創る力」を育てる。
2. 地域において環境に関心を持つ人を増やし、環境保全を促進する。

上記のビジョン・ミッションの下、2016年度は、

- 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり
- 環境学習・環境活動の活性化
- 環境学習・環境活動の意欲の向上・ステップアップ

の3つの柱を掲げて様々な活動に取り組んできました。



2016 年度のハイライト

◎熊本地震で被災したクラブへの支援

2016年4月に発生した熊本地震で被災した熊本県・大分県のこどもエコクラブを支援するために、全国事務局では用途限定募金の受付を行いました。2017年2月末までに81の個人・団体から募金をいただいたほか、株式会社プロントコーポレーション様からは社のCSR活動「P LOVE GREEN」キャンペーンの一部をご寄附いただき、合計で150万円の支援が集まりました。

熊本県・大分県のクラブへのアンケート及び有識者による支援内容検討会をうけ、以下の2点をこどもエコクラブの支援内容として決定し、制作しました。

- ① 全国のクラブからの応援メッセージを織り込んだマフラータオル(被災地のクラブメンバー全員に贈呈)
- ② 「地震にどう対応したか」、「子どもたちにもできたこと」、「全国の仲間への防災メッセージ」など、災害に遭った子どもたち自身の声をまとめたメッセージブック(被災地のクラブを含む全国のこどもエコクラブに1部ずつ配布)



(上)①マフラータオル

(右)②メッセージブック



2017年3月に開催した「こどもエコクラブ全国フェスティバル」の中で、「がんばれ熊本・大分！エール交換」として、熊本県・大分県からの参加クラブにタオルを贈呈するとともに、地震に遭って感じたことや防災への心構えについて、クラブの子どもたちから全国のクラブに直接伝える機会を設けました。話を聞いた他のクラブからは、地震に負けずがんばってほしい、お互いに支え合う温かい気持ちの輪がもっと広がるといい、などの感想が寄せられました。



◎ 全国フェスティバルに史上最多の 619 人が参加

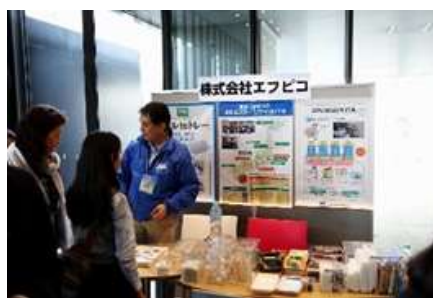
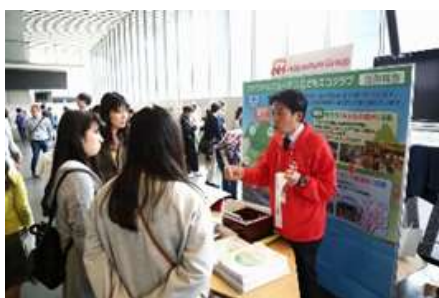
2017 年 3 月 19 日、早稲田大学西早稲田キャンパス理工学術院において、早稲田大学環境保全センターとの共催により「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2017～輝け☆全国のアースレンジャー！～」を開催しました。

今年度は都道府県の代表を各 2 クラブとしたこともあり、メンバー・サポーターをはじめ、コーディネーターやブース出展して下さった企業の方々など、史上最多の総勢 619 人が参加されました。

メインプログラムとして新たに「エコ活セッション」、「みんなで表彰式★」を実施。壁新聞をもとにクラブの活動取材し合った後、決められたパートナーのクラブを称える世界で一枚だけの賞状を作り、表彰式を行いました。

ブース展示には 15 の企業・団体にご参加いただきました。子どもたちは、環境対策を担当している企業・団体の方から直接話を聞いたり質問したりすることで、新たな発見をしたり、地球環境をよくしていこうとする社会の動きを実感したりしていました。

参加して下さったサポーターからは、「どの地域の人たちもその地域を愛して大切にしていることが良く伝わってきた」、「企業・団体の取り組みを大変わかりやすく説明いただけました。様々なお話を聞くことでその先にはまだまだ知らないことがたくさんあり、子どもたちの視野も大きくなっていくだろうと感じます」などの声が寄せられました。



◎ 企業・団体による環境学習支援「アシストプログラム」をスタート

こどもエコクラブのパートナーになっていただいている企業・団体、地域事務局の自治体が有する環境学習教材やプログラム等を広く発信、推奨する「アシストプログラム」を2016年10月にスタートしました。

初年度は12の企業・自治体が提供する21件の情報を掲載し、クラブの環境活動・環境学習の充実に役立てていただきました。今後もより多くの企業・団体、自治体にご協力をいただきながら、情報の拡充を進めてまいります。

アシストプログラム一覧(2017年3月現在)

区分	企業・自治体名	プログラム名	対象地域
資料・教材	滋賀県大津市	環境学習サポーター	大津市内
	三井住友銀行	環境情報誌 JUNIOR SAFE	全国
体験・学習プログラム	岡山県	おかやま環境学習プログラム集	岡山県内
	大阪府東大阪市	東大阪市環境教育出前講座	東大阪市内
	エフピコ	使用済みトレーの選別センター・リサイクル工場見学等	センター・工場の近隣地域
	キリン	工場見学ツアー(全7ヶ所)	工場の近隣地域
	日本ハム	サンゴと海の生き物の学習会	沖縄県(全国から参加可能)
体験・学習イベント	SGホールディングス	田植え・稲刈り体験	近畿
	ブリヂストン	環境ものづくり教室	全国
各種コンクール	雨水市民の会・ライオン	雨活アイデアコンテスト	全国
	イオンワンパーセントクラブ	中学生環境作文コンクール	全国
	SGホールディングス	全国エコ絵画コンクール	全国
	ブリヂストン	こどもエコ絵画コンクール	全国
	山田養蜂場	ミツバチの一枚画コンクール ミツバチの童話と絵本のコンクール	全国



日本ハム「サンゴと海の生き物の学習会」
(活動レポートより)



ブリヂストン「こどもエコ絵画コンクール」の作品を描くメンバー(活動レポートより)

◎各地のこどもエコクラブが大活躍

2016年度も、こどもエコクラブは全国各地で元気に活動しました。コンクールで受賞したり、長年の活動が評価されて表彰を受けたりしたクラブも多数あります。その一部をご紹介します。

【地域環境保全功労者 環境大臣表彰】

いわいずみこどもエコクラブ(岩手県岩泉町)
八溝自然たんけんたい、代表サポーター宮田國敬さん
(茨城県大子町)
元総社エコクラブ「わんぱく探検隊」(群馬県前橋市)
OMRC こどもエコクラブ(沖縄県恩納村)



元総社エコクラブ(右)とOMRC
こどもエコクラブのサポーター

【田中正造賞】

佐野市長賞: 岐阜高校自然科学部生物班(岐阜県岐阜市)

【私の自然観察路コンクール 団体部門】

環境大臣賞: 和歌山県立田辺中学校生物部(和歌山県田辺市)
優秀賞: レインボーキッズ(愛媛県新居浜市)

【低炭素杯 2017】

環境大臣賞 学校部門: 緑丘学園 水戸英宏小学校・中学校(茨城県水戸市)
文部科学大臣賞 学生活動分野: 越谷市立大袋東小学校(埼玉県越谷市)
最優秀次世代賞: 大平山友遊エコクラブ・やまなみこどもエコクラブ(大分県別府市)
最優秀地域・学校エコ活動賞: 壬生北小学校 こどもエコクラブ(栃木県壬生町)
オーディエンス賞: 水戸英宏小学校・中学校、大袋東小学校



水戸英宏小学校・中学校



大袋東小学校

また、クラブの活動の様子が新聞・テレビなど多くのメディアにとりあげられました。

- ・2016年5月15日付上毛新聞「週刊風っ子」: 神愛こどもエコクラブ(群馬県高崎市)
- ・2016年5月23日付埼玉新聞: 在家小学校エコクラブ(埼玉県川口市)
- ・2016年7月1日放映テレビ東京「すけっち」: 自然体感塾ワンダースクール(東京都練馬区)
- ・2016年7月27日付読売新聞: おうめこどもエコクラブ(東京都青梅市)
- ・2016年8月17日放映 J:COM かながわセントラル局「デイリーニュース」:
あやせエコクラブ(神奈川県綾瀬市)
- ・2016年8月20日放映サンテレビ「午後キュン」: 玉一アクアリウム(兵庫県神戸市)
- ・2017年1月10日付北海道新聞: こどもエコクラブくしろ(北海道釧路市)
- ・2017年1月15日放映テレビ東京「日曜ビッグバラエティ」:
和歌山県立田辺高等学校・中学校生物部(和歌山県田辺市)

事業報告

◎環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり

(1) こどもエコクラブの認知度向上

◎ウェブサイト、SNSを通じた広報

こどもエコクラブの事業紹介のほか、クラブからの活動レポートや全国フェスティバルをはじめとするイベント報告を掲載し、こどもエコクラブ事業全体のみならず個々のクラブの活動についても積極的に発信しています。

2016年度の合計ページビュー: 506,855PV

2016年度の合計訪問者数: 112,589 ユーザー

また Facebook や Twitter を活用したリアルタイムの情報発信も行っています。



各地域担当別 Twitter
地域に合わせた情報を発信

Facebook「いいね！」1,180件(2017年3月)

◎外部メディアの活用

環境省・文部科学省など官公庁の記者クラブや、地方紙等へのプレスリリースを行いました。壁新聞の受賞の話題を中心に、以下のとおり各紙・メディアに記事が掲載されました。

【新聞】

新聞名	日付	記事タイトル
読売新聞	2016年4月3日	エコまめクラブの壁新聞が日本環境協会賞を受賞
西日本新聞	2016年4月8日	イオン鹿児島店チアーズクラブが大賞を、エコまめクラブが日本環境協会賞を受賞
下野新聞 (県央・宇都宮版)	2016年4月23日	宇都宮の「東峰保育園」壁新聞で全国最高賞
読売新聞 (埼玉県版)	2016年9月4日	ほのぼの@タウン(防災スリッパ作り)
熊本日日新聞	2017年2月24日	広安西小に環境大臣賞「エコ活」壁新聞コンクール
西日本新聞	2017年3月16日	「わき水守る」壁新聞に大臣賞 益城広安西小の「広西地球環境クラブ」
熊本日日新聞	2017年3月20日	広西地球環境クラブが全国フェスティバルにて防災を呼びかけ
朝日新聞	2017年3月21日	親子環境 PHOTO コミュニケーションプロジェクト

【自治体広報紙】

自治体名	発行時期	記事タイトル
千葉県佐倉市	2016年4月	佐倉保育園(5歳児クラス「つきぐみ」)が、壁新聞コンクールで最高賞を受賞しました
福岡県筑紫野市	2016年5月	アメリカザリガニ捕獲大作戦、壁新聞が全国で受賞



こうほう佐倉(千葉県佐倉市)



広報ちくしの(福岡県筑紫野市)

【その他】

媒体名	発行時期	記事タイトル
とちよみ(県央・県北版) (とちぎよみうり発行)	2016年4月	東峰保育園(栃木県宇都宮市)がリサイクル活動の 壁新聞で表彰
みどりのなかま(学研エデュ ーショナル教育情報新聞)	2016年7月	キミも”エコ活動”をやってみよう!
環境市場新聞 (日本テクノ発行)	2016年7月	子どもエコ活動 約12万人が参加
そよかぜ通信 (教育出版発行)	2016年8月	こどもエコクラブを生活科・総合的な学習の時間の スパイスに
BANDAI NAMCO NEWS (バンダイナムコホールディン グス発行)	2016年秋	「こどもエコクラブ」の環境学習会にグループ社員と その家族が参加
塩ビと環境のメールマガジン (塩ビ工業・環境協会発行)	2016年9月	「こどもエコクラブ」のご紹介 —地球のワクワク! 発見しよう—
CSR ニュース (バンダイナムコホールディン グスウェブサイト)	2016年11月	バンダイナムコグループ CSR 活動 「森の木こり体験」活動に参加
彩の国ニュース ほっと (テレビ埼玉)	2016年12月	SAITAMA 環境フェア&こどもエコフェスティバル
エコチル(アドバコム発行)	2016年12月	登録しよう! こどもエコクラブ
最近の卓話(東京神田ロータ リークラブウェブサイト)	2016年12月	「こどもエコクラブについて」
JUNIOR SAFE(三井住友フィ ナンシャルグループ発行)	2017年版	こどもエコクラブで、地球のワクワク! 発見しよう
エコチル(アドバコム発行)	2017年1月	「こどもエコクラブについて」
エコチル(アドバコム発行)	2017年2月	おすすめイベント★ こどもエコクラブ全国フェスティバル 2017



そよかぜ通信(教育出版)



BANDAI NAMCO NEWS
(バンダイナムコホールディングス)



JUNIOR SAFE
(三井住友フィナンシャルグループ)



エコチル 2月号(アドバコム)

関東地方を中心に、自治体や団体が主催する環境イベントに参加・出展しました。参加者に楽しいプログラムを提供しながら、こどもエコクラブの紹介と勧誘を行いました。

実施日	イベント名	主催者	内容
2016年 5月22日	柏子育てフェスタ 2016	柏市私立幼稚園協会	「エコまるうちわ」でエコアクション宣言！
2016年 6月5日	いちかわ環境フェア 2016	市川市	アースレンジャー うらない
2016年 6月18日	大袋東小学校 エコフェスティバル 18	越谷市立大袋東小学校	こどもエコクラブ 登録式に出席
2016年 6月19日	市制施行 50 周年記念 いるま環境フェア	入間市	古新聞を使った防災 スリッパ・紙食器づくり
2016年 7月27、28日	子ども霞が関見学デー	環境省	壁新聞展示
2016年 9月24日	子どもとためす環境まつり 2016(東京都中央区)	「子どもとためす環境 まつり」実行委員会	ペットボトルでキラキラ トブレスレットづくり
2016年 10月1、2日	グリーン・チャレンジデー 2016 in 新宿御苑	GTF グレーター トウキョウ フェスティバル実行 委員会	こどもエコクラブによる 活動紹介
2016年 10月29～31日	環境活動登録団体紹介展 「環境活動フェス 2016」 (東京都中央区)	中央区	壁新聞展示
2016年 11月19日	植樹「未来への約束」の 再会	日本郵便株式会社	8年前の植樹の際に 埋めたタイムカプセル の開封
2016年 11月26日	SAITAMA 環境フェア & こどもエコフェスティバル	埼玉県	エコクリスマスカード づくり
2016年 11月26日	第1回 educe 食育大会	一般社団法人日本 educe 食育総合研究所	こどもエコクラブ事業 紹介
2016年 12月8～10日	エコプロ 2016	一般社団法人産業環境 管理協会、 日本経済新聞社	こどもエコクラブ事業 紹介、エコキッズ探検 隊への説明
2016年 12月10日	ソフトバンクグループ ファ ミリーデー 2016 in Winter	ソフトバンク株式会社	指編みリース作り
2017年 1月15日	いきものみつけフォーラム in ながの	いきものみつけファーム in ながの推進協議会	壁新聞展示
2017年 1月28日	新宿の環境学習応援団 まちの先生見本市	NPO 法人新宿環境活動 ネット	フォトコンテスト投票、 エコみくじ
2017年 1月28日	草津市こども環境会議	草津市こども環境会議 実行委員会	壁新聞展示



いちかわ環境フェア 2016



子ども霞が関見学デー



子どもとためす環境まつり 2016



植樹「未来への約束」の再会



SAITAMA 環境フェア &
こどもエコフェスティバル



エコプロ 2016

◎広報ツールの貸出

地方自治体等に、広報ツール(前年度に子どもたちが年間の活動をまとめた壁新聞、エコまる旗、エコまる着ぐるみ、事業紹介パネル等)を貸し出しました(旗:14ヶ所、パネル:3ヶ所、エコまる着ぐるみ:11ヶ所、壁新聞15ヶ所)。



壁新聞



エコまる旗・着ぐるみ



事業紹介パネル

(2) こどもエコクラブへの登録促進

環境活動を行う幼児(3歳)から高校生の子どもと、子どもたちの活動を支援する大人(サポーター)で構成したクラブの登録を受け付け、一元的な情報管理を行いました。なお、ウェブサイトから登録や変更などの諸手続きを容易にしました。

※クラブの個人情報 は 弊協会 プライバシーポリシー に の っ と り、適 切 に 管 理 し て い ま す。

平成28年度の登録数は、クラブ数:2,013クラブ、メンバー数:113,920名、サポーター数:21,478名で、これまでの延べ登録メンバー数は約230万人となりました。

また、登録数の増加を目指し、以下のような取り組みを行いました。

※都道府県別登録数、学年内訳等は、P.33「登録データ」を参照。

◎東京都民間保育園協会との協働取組

東京都内の私立認可保育園の保育の質の向上を目的とした様々な活動を行っている一般社団法人東京都民間保育園協会と、協働取組に関する協定書を締結しました。本協定に基づき、同協会に加盟する保育園の園児の健やかで心豊かな成長と地域の環境保全を推進する活動を、対等なパートナーシップのもとで実行していく予定です。併せて、加盟園のこどもエコクラブ加入を促進し、都内の私立保育園における環境への取り組みを進めていきます。

◎ポスター・パンフレットの配布

本事業に賛同して地域事務局として登録した地方自治体および関係方面に、クラブの募集ポスター、パンフレットを希望数配布しました。また、希望する自治体には版下用データを送付し、地域事務局名を入れた独自のポスターを制作できるようサポートしました。なお、パンフレットについてはこどもエコクラブウェブサイト内でも掲載し、適宜ダウンロードすることができるようにしました。



ポスター



パンフレット

◎メンバーズバッジの配布

こどもエコクラブメンバーの証であるメンバーズバッジを制作し、登録したクラブメンバーへの特典として配布しました。バッジの色を毎年変更することで、子どもたちの活動継続へのモチベーション向上に役立っています。



◎ 環境活動・学習の活性化促進

(1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供

サポーター向け新コンテンツとして、今年度から助成金情報や地域別のイベント情報の掲載を開始しました。また、サポーターの声をお届けする「リアルヴォイス」をリニューアルし、他のクラブが取り組みたいくなる優良プログラムを紹介するコーナーにしました。これらを含めた更新情報を取りまとめてお知らせするメールマガジン「サポーターインフォメーション」を月2回配信しています。

また、新たな試みとしてクラブの形態・関心分野に合わせてカスタマイズした活動事例やプログラム情報を提供する「メール版 JEC プレス」を配信しました。



リアルヴォイス

(2) 教材・プログラムの提供

◎手帳、エコカード等の作成・配布

子どもたちの活動への意欲・継続意識の促進を目的として、日頃の活動を記録するメンバー手帳(50,000部)を作成、希望するメンバーに配付しました。

また、小学校入学前のメンバーを対象としたツール「ぼくの/わたしのエコカード！」(20,000部)を作成、チャレンジしてほしいエコな行動をエコまるたちのイラストで紹介し、希望する未就学児がいるクラブに送りました。

サポーター(大人)向けには事業趣旨や活動時の支援内容等を記載した「応援マニュアル」(3,000部)を作成、登録クラブに配付しました。



メンバー手帳



エコカード



応援マニュアル

◎ニューズレターの発行

動植物の観察の楽しさや、観察するときのコツなどを紹介したメンバー向けニューズレター(タブロイド版、カラー4色、4ページ)「JEC プレス 2016年4月号」(60,000部)を制作・発行し、希望するメンバー、サポーター、地域事務局に配付するとともに、ウェブサイトに掲載しました。



◎プログラム・講座の実施

自治体やクラブの要望を受け、環境学習プログラムや講座を実施しました。



「カレーでエコを考えよう！」
(東京都中央区)



壁新聞作り講座
(千葉県浦安市)

(3) 活動レポート、壁新聞へのフィードバック

◎メールメッセージ

クラブから寄せられる活動レポートに対して、応援団(環境カウンセラーや協会のこども環境相談室・相談員等の環境に知見のある有識者)からのメールメッセージ(活動の発展につながるコメントやアドバイス)を、投稿後2週間以内を送付しています。平成28年度は1,200件の投稿があり、その全てにメールメッセージをお返ししました。

<掲載例>

○おばあちゃんから むかしの田舎食を教わったよ

・メンバーのおばあちゃんの家で、田んぼのイナゴをつかまえて、初めて食べてみました。メンバーのいとこ達も参加しました。(※必ず加熱して食べるようにということです)

参加者のようす

串にさしたイナゴを火であぶり、しょうゆをつけて頂きました。

最初は、おばあちゃんが手本を見せてくれました。初めはビクビクしていたメンバーも、おばあちゃんの慣れた手つきに安心した様子。自分たちでもしっかりと調理していました。

直火であぶると、エビの様なにおいがしました。

(意外にも)食欲をそそるにおいに、びっくりしました。

感想・気づいたこと・考えたこと

味については、表面はパリパリ・ポリポリと香ばしい。中身はゆで卵の黄身のようにホクホクしたものでした。いままでは「食べられるか・どうしようか」だったのが、一度口にしてしまうと、今度は「どうやって食べるか」に意識が変わるので不思議です。

おばあちゃんの時代には、田んぼ作業の合間にイナゴをつかまえて、ふつうに食べていたということ。決して特別なことではなかったようです。

色々なことを知っていて、おばあちゃんはスゴイ！という話になりました。おばあちゃんは、いつもメンバーやサポーターに「里山ぐらし」を教えてください。いろいろ昔暮らしの知恵を持っていて、頼もしい存在です。イナゴをつかまえるのも上手でした。

その他

数えたところによると、今回は、クラブスタート以来、100件目の節目の投稿になります。いつも、ありがとうございます。



○コメント

【メンバーの皆さんへ】

岡山ハッケンジャーのみなさん、活動報告をありがとうございます。

100件目の投稿、おめでとうございます！！しかも、その報告はかなり衝撃的なものでしたね。

「昔の田舎食」ということですが、今から40～50年以上前の日本ではイナゴは普通に食べられていました。また、最近では国連食糧農業機関(FAO)がこうした昆虫食を勧めたという有名な話もあり、それ以来、昆虫食への注目度は高まっています。

イナゴは焼いて食べるほかに、佃煮にしたり、煎ってすりつぶしてふりかけにしたりする食べ方もあります。

これからもおばあちゃん(昔の人)の知恵をこれからの生活に活用して、少しでもエコ生活になるといいと思っています。

では、次回の報告も楽しみにしています。



◎壁新聞道場

平成 27 年度に提出された、1 年間の活動をまとめた壁新聞全 244 作品に対して、環境に知見のある有識者（環境カウンセラーや協会の子ども環境相談室・相談員等）による、壁新聞のまとめ方や効果的な伝え方、活動の発展につながるコメントやアドバイスを付し、「壁新聞道場！」としてウェブサイトで紹介しました。



師範から一言！

昨年度の壁新聞道場のメッセージで「人」をテーマにしてみても、と書いた提案を受けて壁新聞を作ってくれたなんて、大変うれしいです。そして、「人」について考えて、今回の壁新聞では「外国人とのエコ活動」と「台風 18 号」の2つのことについてくわしく報告されていて、大変興味を持って記事を読みました。

「外国人とのエコ活動」の記事ではみんなの身近にいるブラジル人の日本ででの活動を知り、またブラジルの環境活動を知ることもでき、メンバーにとっても新しい発見があったようですね。私自身、真岡市にブラジル人の方など外国の方が多く住んでいることは知りませんでした。私の周りの外国人のことを調べてみよう、とこの記事を読んで思いました。また、「台風 18 号」の記事では、台風の被害にあった地域のために義援金を送ることになった理由と、みなさんが児童館ショップの売り上げを義援金として真岡市長に渡したことがよく分かる記事になっていますね。

とっておきのゴジドウ★

真岡児童やさしクラブさんの今回の2つの記事から、みなさんが1年間どんな活動をしたのか、そしてどんな気持ちで活動できたかもよく分かり、とても良い壁新聞になっています。テーマを2つに絞ったところもいいですね。

ただ、最初に壁新聞全体を見たとき、「わっ、字が小さい」、「読みにくいとこもある」と感じました。「じっくり読みたい」と思う人は一生懸命読んでくれるでしょうが、「ちょっと読んでみようかな」、くらいの人には、「ちょっとこれは読むのが大変だ」と感じて、結局全部見てもらえない気がします。

次回作るときは、自分たちが読む側に立って、新聞作りのレイアウトや文字の大きさや太さなどもう一度確認して、作ってみてください。

私としては、今度は児童館ショップでどんなアイデアエコ商品を出しているのか、ショップをするまでの準備はどうしているのか、当日はどんな様子だったのか、どんな人が商品を買ってくれているのか、など詳しく知りたいなあと思いました。いずれにせよ、これからも活動がんばって下さいね。

◎活動レポートフォトコンテスト

活動レポートと一緒にクラブから寄せられる写真を活用したフォトコンテスト（協賛：ケニス）を3期に分けて実施・表彰して、活動報告の投稿を促すとともに、受賞作品を広報資料に掲載するなど写真を活用して元気に活動する子どもたちの様子をアピールしました。

また、3月に実施した全国フェスティバルにおいて、1期～3期の全ての入賞作品を展示して、全国フェスティバルの全参加者による投票を行い、年間賞を決定・表彰を行いました。

○平成 28 年度 入賞作品



■平成 28 年度子どもエコクラブ賞
逆川子どもエコクラブ（茨城県水戸市）
「逆川に入ってクリスマス会」



■平成 28 年度ケニス賞
大阪ハッケンジャー
（大阪府大阪市）
「春のトンボを探そう」

◎新人賞、皆勤賞

毎月1回、その月に初めて活動レポートを投稿してくれたクラブの中から抽選で1クラブに「活動レポート新人賞」を贈呈しました(協賛:バンダイナムコホールディングス)。

また、新たに活動レポート皆勤賞を設け、季節ごとに1回以上(合計4回以上)活動レポートを送ってくれた25のクラブを称えました。

フォトコンテスト及び新人賞、皆勤賞は、より多くのクラブから活動レポートを投稿してもらうことをねらって実施しているものです。今年度の投稿クラブ数は124で、年々増加しています。

(4)企業との協働推進

◎企業からの支援

企業・団体様のCSR活動をこどもエコクラブと連携・協力して実施していただきました。ウェブサイトやメールを通してサポーターやコーディネーターに活動の周知を図り、多くの子どもたちに参加していただいたほか、活動を通して企業とクラブとの新たなつながりも生まれました。

【環境活動・イベント】



ニッポンハム 「みんなの森林(もり)活動」
(兵庫県たつの市)



バンダイナムコ&報徳楽校
「森の木こり体験」(神奈川県大井町)



タカラトミー 「立石打ち水大作戦!!」
(東京都葛飾区)



三菱電機 「親子で楽しむ♪海の森野外教室」
(東京都江東区)



世界貿易センタービルディング「ThinkPark Forest 見学&サッカースクール体験」
(東京都品川区)



アトリエはるか「はぎれで作る☆かわいいヘアアクセサリー&プロのヘアアレンジ体験♪」
(神奈川県川崎市)

【コンクール等の実施】

【寄附等の提供】



イオン1%クラブ「中学生環境作文コンクール」



SGホールディングス「全国エコ絵画コンクール」



全国労働者共済生活協同組合連合会「エコ住宅専用 全労済住まいる共済」

また、多くの方にこどもエコクラブについてご賛同・ご支援いただけるよう、こどもエコクラブ応援企業・団体の意見交換会を実施しました。企業・団体が行っている本事業への支援事例を発表いただき、企業・団体同士の交流を推進するとともに、こどもエコクラブ事業について理解を深めていただきました。また、環境省・文部科学省の環境教育に携わる方々にもご挨拶をいただきました。



日時:平成 28 年 11 月 11 日(金) 15:00~17:30
会場:合同庁舎 5 号館(環境省) 19 階 第 2・3 会議室
主催:環境省、公益財団法人日本環境協会
出席者:31 企業・団体 35 名、環境省 2 名、文部科学省 2 名、事務局 9 名

◎いきものみつけファーム

平成 23 年度から、こどもエコクラブを核として、地方自治体、企業、生産者、大学、NPO 等が協働することにより、子どもたちが身近な生物とのふれあい等の自然体験や農業体験、農作物の販売体験等の社会体験を通じ、環境や食と農、グリーン購入などを学ぶいきものみつけファーム事業を推進しています。各地に産官学民が協働する「いきものみつけファーム推進協議会」を設置し、環境配慮型の農業の普及、環境配慮型商品の流通促進、地域の環境活動リーダーの育成など地域の活性化を図っています。

平成 28 年度は、長野県松本市、秋田県大仙市、滋賀県、長野県長野市、山梨県中央市の協議会において作物の植え付け、収穫、生物観察、食育、流通など様々な活動を繰り広げました。その他、京都府京丹後市、千葉県流山市などで新たな推進協議会の設立の準備を進めています。

今後は協議会の設立支援に加え、それぞれの協議会の経営の自立促進、全国事務局の活動資金確保の方策が課題です。



いきものみつけフォーラム in ながの
(長野県長野市)



いきものみつけファーム in 松本
フォーラム(長野県松本市)

◎Project-D

平成 23 年の東日本大震災で大きな被害を受けた森林や樹木の再生をテーマに、こどもエコクラブを始めとする全国の子どもたちが、①被災地復興のため心をついに協力する ②遺伝子の攪乱を防ぎ、生物多様性に配慮した森林再生を行う ③子どもたちの環境、地域づくりへの理解を深めるとともに、事業に参加するこどもエコクラブのサポーターや企業担当者等の環境人材の育成を図ることを目的した事業を、平成 23 年度から実施しています。

平成 28 年度は、宮城県東松島市の国有林海岸防災林再生事業に応募し、同じく被災地の緑化に取り組む「東日本大震災緑化支援 100 万本植樹」と共同で、全国で育てた約 3,000 本の苗木を植えました。また、前年度より活動している福島県郡山市で引き続き植樹を行うとともに、8 月には下草刈りも行いました。



宮城県東松島市での植樹



福島県郡山市での下草刈り

(5) All Japan Youth Eco-club

子どもエコクラブでの活動経験のある若者のネットワークを築き、環境活動・環境学習の充実・発展を目的に、子どもエコクラブのサポートおよびユースメンバー同士の交流、イベント等の企画を行うなど、様々な活動を進めています。

◎「ユースが行く！」連載

ユースが自分のクラブの枠を越えて、他のクラブを取材して活動を紹介したり、自身が実行・参加したエコ活動の報告をしたりする記事「ユースが行く！！」を月1回、ウェブサイトに掲載しました。

◎会員証の作成・交付開始

All Japan Youth Eco-club が活動を始めて3年が経過し、登録メンバー数も約40人と増えてきたことから、メンバーであることを示す会員証を新たに作成、これまでに登録されたメンバーに送付しました。

◎新ウェブサイト稼働

ユースの活動情報の発信に加え、メンバー登録やメンバー同士の交流や情報交換がオンラインでできる新たなウェブサイトを開設しました。



◎環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ

(1) 地域活動活性化

◎サポーター交流会

クラブのメンバーが意欲を持って活動し、ステップアップしていくためには、日頃から子どもたちをサポートしてくださっているサポーターへの働きかけが重要です。全国事務局ではサポーター同士の情報交換や学び合いを進めるため、地域事務局とも連携しながら交流会を企画・開催しました。

千葉県事務局が開催した県内のサポーター・コーディネーターが集まる「サポーター会議@ちば」では、こどもエコクラブ全国事務局長が講師を務めました。グループワークでは、活動することが子どもたちの「人間力」の成長につながっていること、子どもだけでなく保護者や地域の方への意識向上になっていることなど、こどもエコクラブのメリットが出されるとともに、みんなで一緒に活動する時間がなかなか取れなくなっているなど、日頃の子どもたちとの関わりの中でサポーターが抱える悩みについて話し合いました。

また滋賀県では、クラブの交流会開催に合わせたサポーター交流会を全国事務局から提案し、滋賀県事務局のご協力を得て実施することができました。滋賀県内だけでなく近隣のクラブのサポーターも参加し、地域グループと学校グループに分かれて日々の活動やクラブの運営についての課題を話し合いました。

3月に開催された全国フェスティバルの中でもサポーター交流会を実施しました。20クラブ28人のサポーターの参加があり、コーディネーター（自治体担当者）も交えて熱心な意見交換が行われました。

各地のこどもエコクラブで活動する子どもたちの成長を支える柱となるのがクラブのサポーターです。全国事務局ではこれからも、サポーターのみなさんのスキルアップや交流の機会を提供していきます。



サポーター会議@ちば



サポーター交流会(滋賀県)



サポーター交流会
(全国フェスティバル)

◎こどもエコクラブ交流会：滋賀での会に近畿圏のクラブが参加

滋賀県事務局では毎年12月に「淡海こどもエコクラブ活動交流会」を開催して下さっていますが、今年初めて近県（三重県、大阪府、兵庫県）のこどもエコクラブにも呼びかけを行い、参加していただきました。それぞれのクラブが日頃の活動について発表を行い、県をまたいで交流を深めました。



淡海こどもエコクラブ活動交流会
(滋賀県)

この他にも多くの自治体がこどもエコクラブの交流会を開催して下さっています。



こども環境会議ちば



福岡県こどもエコクラブ体験ツアー



SAITAMA 環境フェア &
こどもエコフェスティバル

◎リアル・ヴォイス☆Premium(プレミアム)

こどもエコクラブの中には、地域に根ざした環境活動を続ける中で多様な主体とつながり、地域の環境保全において中心的な役割を担うまでに成長しているところもあります。これらのクラブの成功の要因・秘訣を、サポーターへのインタビューを通して明らかにするコンテンツ「リアル・ヴォイス☆Premium」を新たにスタート。2016年度は、埼玉県宮代町の「MIYASHIRO エコ☆スターズ」と東京都新宿区の「こどもエコ広場新宿」の2クラブを紹介しました。

★リアル・ヴォイス☆Premium(プレミアム) Vol.1 MIYASHIROエコ☆スターズ

2016.10.19 掲載

●リーダーシップは経験から生み出される

MIYASHIROエコ☆スターズ(以下、エコスタ)の活動は、月1回、2016年度のメンバーは小学生6名、中学生5名、高校生7名の計18名です。エコスタのロゴマークが入った青いTシャツを着用し、地域の施設を活用して活動しています。中学校で環境ボランティアとして活動していた男子と卒業生がグループを作り、町の教育委員会主催の「宮代町子ども環境会議」に参加。会議に賛同する発表や活動を行ったところ、共感した子どもたちが集ってエコスタが発足しました。

エコスタは全体を統括する代表(高校生)を1名おき、イベント毎にリーダーを定める「チーフ制」を推しています。

チーフは主に中学生で、小学生メンバーをサポートします。小学生がイベントのアイデアをだしあい、助け合って活動します。

チーフは責任感を持って仲間を動かさなければなりません。最初は、指示が上手くいかず、メンバーが思うように動いてくれなかったり、ストレスもつ子も多いのですが、経験を重ねることによって人を動かす力が身につきます。小学生メンバーもチーフが頑張る姿を見て育つので、中学生になる頃にはリーダーシップが身につき、後継者を育てる...といった目標を目標として活動しているのです。




(2) 全国規模での交流と顕彰

◎全国エコ活コンクール

子どもたちが日頃のエコ活動をまとめることによって、活動を通して感じたことなどをふりかえるとともに新たな気づきを得るきっかけとすることを目的とした「全国エコ活コンクール」を企画し、全国のクラブに対しては活動をまとめた壁新聞を、個々のメンバーに対しては絵日記を募集しました。

子どもたちが作成した壁新聞・絵日記を「独創性」、「発展性」、「アピール力」、「地域への密着度」を選考基準として、有識者、環境省担当官、企業担当者等からなる「選考委員会」にて審査を行い、壁新聞の環境大臣賞、文部科学大臣賞、日本環境協会賞、協賛企業賞、絵日記の優秀賞等を選定しました。

■募集概要

- 募集期間：平成28年10月～平成29年1月6日（金）
- 対象：全国のこどもエコクラブ
- 仕様：壁新聞－模造紙大、縦横自由
絵日記－A3サイズ、縦
- その他：複数枚数の応募可能

■募集結果

- 壁新聞 応募数：216枚
- 絵日記 応募数：258枚

■審査結果

- 受賞壁新聞・絵日記 P.37 参照



◆環境大臣賞（壁新聞）

◎アースレンジャー認定証の授与

子どもたちの活動を称える「アースレンジャー認定証※」を作成し、1年間に5回以上の活動を報告したメンバー（1,388名）に授与しました。

また、3年間継続活動をしているメンバー（189名）には銀バッジを、6年間継続活動をしているメンバー（28名）には、金バッジを授与しました。

※年間5回以上の活動報告を行い、申請があったメンバーに授与。



認定証/金・銀バッジ

◎こどもエコクラブ全国フェスティバルの企画・実施

各地域で子どもたちが展開している活動を紹介して、環境保全活動の定着・拡大を促し、環境人材の育成を図ることを目的として、全国フェスティバルを企画・実施しました(6 ページ参照)。活動をまとめた壁新聞で選ばれた都道府県代表クラブ、絵日記で選ばれた受賞者が参加し、子どもたちの活動発表・交流や環境に関する企業・団体展示ブースの見学、環境大臣賞の表彰等を行いました。

■こどもエコクラブ全国フェスティバル 2017～輝け☆全国のアースレンジャー！～

○開催日:2017年3月19日(日)

○会場:早稲田大学 西早稲田キャンパス理工学術院 63号館(東京都新宿区大久保三丁目4-1)

○主催:公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)

○共催:早稲田大学環境保全センター

○後援:環境省、文部科学省、厚生労働省、消費者庁、公益社団法人こども環境学会、
全国小中学校環境教育研究会、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK

○出展企業・団体:アマノ株式会社、株式会社イトーキ、株式会社エフピコ、
王子ホールディングス株式会社、SGホールディングスグループ(佐川急便)、
島村楽器株式会社、DOWAエコシステム株式会社、トヨタ自動車株式会社、
ニッポンハムグループ、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、
文化シヤッター株式会社、三井化学株式会社、株式会社三井住友銀行、
ライオン株式会社、エコマーク事務局

○協力:株式会社ミールケア、東京都水道局、井筒まい泉株式会社、株式会社ケニス、
三井不動産株式会社、株式会社龍角散

○参加者:619名

- ・都道府県代表クラブ:475名(子ども277名、大人198名)
- ・絵日記受賞メンバー:8名(子ども5名、大人3名)
- ・一般クラブ:13名(子ども6名、大人7名)
- ・こどもエコクラブ自治体担当者:10名
- ・企業・団体担当者:61名
- ・関係者:52名

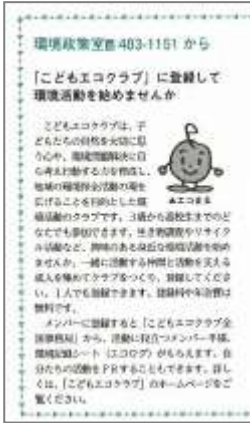


● 地域事務局の取組事例

地域事務局においても、さまざまな形でこどもエコクラブを推進しています。

(1) こどもエコクラブ関連記事(紹介・募集)の掲載

◆ 広報紙・ウェブサイト等



千葉県八千代市 「広報やちよ」



千葉県松戸市 「広報まつど」



北海道函館市 ウェブサイト



福井県 ウェブサイト



長野県松本市 ウェブサイト



京都府木津川市 ウェブサイト



兵庫県神戸市 ウェブサイト



熊本県八代市 ウェブサイト

◆地域クラブのメンバー募集と運営



千葉県市川市 募集チラシ



東京都立川市 募集ウェブサイト

◆環境副読本・地域の環境団体発行物での紹介



福島県郡山市
「郡山市のかんきょう」



福岡県 「みんなの環境 資料編」

◆自治体によるこどもエコクラブ関連発行物



群馬県 サポーターズ・ニュース



新潟県 サポーターズ・ニュース



福岡県春日市
こどもエコクラブ事務局だより

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	—	埼玉県	白岡市	長野県	佐久市	奈良県	奈良市
北海道	札幌市	埼玉県	寄居町	長野県	千曲市	和歌山県	—
北海道	函館市	千葉県	—	長野県	軽井沢町	鳥取県	—
北海道	室蘭市	千葉県	市川市	岐阜県	岐阜市	鳥取県	米子市
北海道	釧路市	千葉県	船橋市	岐阜県	高山市	島根県	—
北海道	網走市	千葉県	松戸市	岐阜県	多治見市	島根県	松江市
北海道	羽幌町	千葉県	野田市	岐阜県	可児市	島根県	浜田市
青森県	—	千葉県	我孫子市	静岡県	—	岡山県	—
青森県	青森市	千葉県	佐倉市	静岡県	浜松市	岡山県	倉敷市
青森県	八戸市	千葉県	習志野市	静岡県	沼津市	岡山県	井原市
岩手県	—	千葉県	八千代市	静岡県	富士宮市	岡山県	高梁市
岩手県	盛岡市	千葉県	香取市	静岡県	富士市	岡山県	浅口市
岩手県	遠野市	東京都	新宿区	静岡県	藤枝市	広島県	—
岩手県	雫石町	東京都	江東区	静岡県	湖西市	広島県	広島市
宮城県	—	東京都	世田谷区	愛知県	—	広島県	福山市
宮城県	石巻市	東京都	中野区	愛知県	岡崎市	広島県	廿日市市
宮城県	塩竈市	東京都	北区	愛知県	一宮市	山口県	—
宮城県	気仙沼市	東京都	練馬区	愛知県	半田市	山口県	宇部市
宮城県	多賀城市	東京都	足立区	愛知県	春日井市	山口県	山口市
宮城県	利府町	東京都	八王子市	愛知県	豊田市	山口県	岩国市
秋田県	—	東京都	立川市	愛知県	犬山市	愛媛県	今治市
秋田県	秋田市	東京都	武蔵野市	愛知県	江南市	愛媛県	西条市
秋田県	横手市	東京都	青梅市	愛知県	小牧市	高知県	—
秋田県	由利本荘市	東京都	調布市	愛知県	稲沢市	福岡県	—
山形県	—	神奈川県	—	愛知県	東浦町	福岡県	北九州市
福島県	—	神奈川県	横浜市	三重県	—	福岡県	筑紫野市
福島県	福島市	神奈川県	相模原市	三重県	四日市市	福岡県	春日市
福島県	会津若松市	神奈川県	平塚市	三重県	松阪市	福岡県	大野城市
福島県	郡山市	神奈川県	藤沢市	三重県	鳥羽市	福岡県	太宰府市
福島県	いわき市	神奈川県	茅ヶ崎市	三重県	志摩市	福岡県	朝倉市
茨城県	—	神奈川県	大和市	三重県	大紀町	佐賀県	—
茨城県	日立市	神奈川県	南足柄市	滋賀県	—	佐賀県	佐賀市
茨城県	北茨城市	神奈川県	綾瀬市	滋賀県	草津市	長崎県	—
茨城県	ひたちなか市	新潟県	—	京都府	木津川市	長崎県	大村市
栃木県	—	新潟県	長岡市	大阪府	—	熊本県	—
栃木県	宇都宮市	新潟県	三条市	大阪府	大阪市	熊本県	人吉市
栃木県	真岡市	新潟県	柏崎市	大阪府	堺市	大分県	—
群馬県	—	富山県	—	大阪府	高槻市	大分県	大分市
群馬県	前橋市	富山県	高岡市	大阪府	茨木市	宮崎県	—
群馬県	高崎市	石川県	金沢市	大阪府	寝屋川市	宮崎県	宮崎市
群馬県	伊勢崎市	福井県	—	大阪府	大東市	宮崎県	都城市
埼玉県	—	福井県	福井市	大阪府	東大阪市	鹿児島県	—
埼玉県	さいたま市	山梨県	—	大阪府	交野市	鹿児島県	鹿屋市
埼玉県	川越市	長野県	—	大阪府	阪南市	鹿児島県	指宿市
埼玉県	川口市	長野県	長野市	兵庫県	神戸市	鹿児島県	霧島市
埼玉県	所沢市	長野県	松本市	兵庫県	姫路市	沖縄県	—
埼玉県	戸田市	長野県	駒ヶ根市	兵庫県	尼崎市	沖縄県	那覇市
埼玉県	朝霞市	長野県	大町市	兵庫県	伊丹市	沖縄県	浦添市
埼玉県	久喜市	長野県	塩尻市	兵庫県	篠山市	沖縄県	南風原町

(2) こどもエコクラブ交流会等 環境イベントの開催



群馬県
こどもエコクラブ交流会



岐阜県岐阜市
こどもエコクラブ交流会



三重県
こどもエコクラブ県内交流会



滋賀県草津市
こども環境会議



兵庫県姫路市
こどもエコクラブ オータムツアー



山口県宇部市
こどもエコクラブ体験講座

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
岩手県	—	岐阜県	岐阜市	大阪府	—	福岡県	北九州市
栃木県	—	静岡県	—	兵庫県	姫路市	長崎県	佐世保市
群馬県	—	静岡県	富士市	岡山県	—	熊本県	八代市
埼玉県	—	愛知県	豊田市	岡山県	岡山市	沖縄県	—
千葉県	—	三重県	—	広島県	広島市		
千葉県	市川市	滋賀県	—	山口県	宇部市		
福井県	鯖江市	滋賀県	草津市	福岡県	—		

(3) クラブへのツール等の配布



秋田県 バンダナ



静岡県富士市 会員証

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
秋田県	—	兵庫県	姫路市	長崎県	—		
千葉県	市川市	福岡県	—	大分県	—		
静岡県	富士市	佐賀県	—	鹿児島県	—		

(4)こどもエコクラブ活動報告書等の発行・配布



秋田県



茨城県



群馬県



埼玉県越谷市

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	函館市	茨城県	—	群馬県	—	埼玉県	越谷市
秋田県	—	栃木県	—	埼玉県	川越市		

他にも、クラブへの活動助成や活動時の専門家の派遣、地域独自の子どもたちの顕彰、ホームページ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)等による広報を積極的に行っている地域もあります。

協賛・協力いただいた企業・団体

本事業の実施・運営に関して、様々な企業・団体の皆さまからの支援・連携を募り、「パートナー」「寄附」等により実施・運営を行っております。

■パートナー（パートナー会員及びイベント協賛企業・団体）（70社）

アサヒホールディングス	アトリエはるか	アマノ	アライアンス
イオン 1%クラブ	市流	イトーキ	エコスグループ
エコ・ファースト推進協議会	SG ホールディングスグループ (佐川急便)	エフピコ	ELEHOUSE(エレハウス)
塩ビ工業・環境協会	王子ホールディングス	岡山東法人会	オフィス・エヌ
共立駐車場工事	共立理化学研究所	キリン	ケニス
コカ・コーラウエスト	島村楽器	シミズオクト	清水建設
住商フーズ	3R 活動推進フォーラム	総合ハウジングサービス	高杉製薬
高光産業	タカラトミー	坪井工業	鉄建建設
東京交通会館	東京国際フォーラム	東京建物	東京リサイクル
東洋ライス	東レ	DOWA エコシステム	トヨタ自動車
西日本ビル代行	ニッポンハムグループ	日本印刷産業連合会・グリーンプリンティング認定事務局	日本容器包装リサイクル協会
長谷エコーポレーション	林事務所	バンダイナムコホールディングス	富国運輸
フジメンテニール	ブリヂストン	ブリプレス・センター	文化シヤッター
ミールケア	三井化学	三井住友海上火災保険	三井住友銀行
三井不動産	三菱地所	三菱地所設計	三菱地所ホーム
三菱地所リテールマネジメント	三菱地所レジデンス	三菱電機	ミヨ・コーポレーション
山田養蜂場	ライオン	リソー教育グループ	リッキーシステムソリューション
龍角散	ロックベイント		

■寄附

【企業・団体】

緒方不動産鑑定事務所	税理士法人東京会計コンサルティング	世界貿易センタービルディング	積水化学工業
全労済	東京都民銀行	西久大運輸倉庫	日本エコル合同会社
プロントコーポレーション	柳瀬川の最上流をきれいにする会	こどもエコクラブ(25クラブ)	その他 16 団体

【ロータリークラブ】

東京神田ロータリークラブ	東京山王ロータリークラブ	東京シティ日本橋ロータリークラブ	東京日本橋西ロータリークラブ
東京日本橋東ロータリークラブ			

【個人・その他】

石橋 正文様	可児 和子様	他 58 名
T ポイントジャパン	かざして募金 3 名	古本募金(団体 2、個人 6)

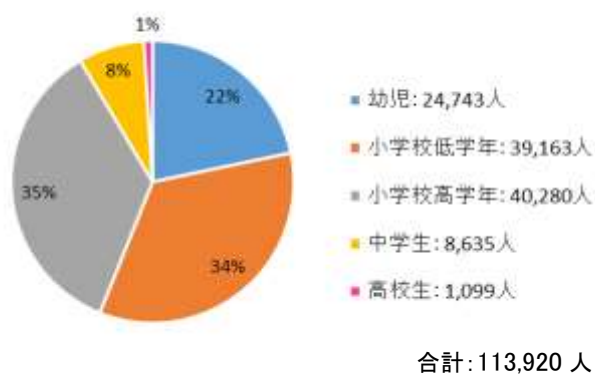
登録データほか

■平成 28 年度都道府県別登録データ

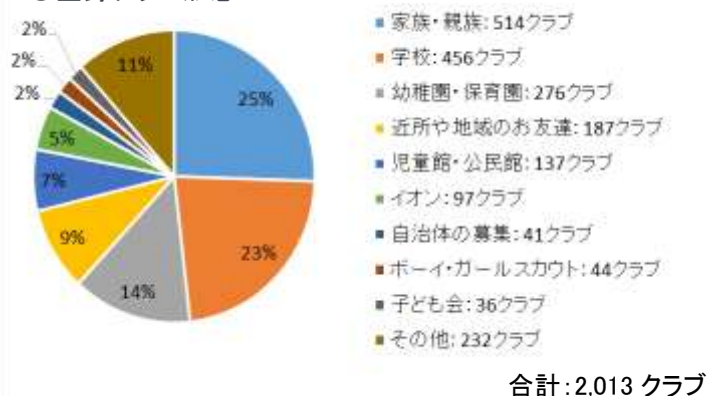
県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
北海道	27	703	181
青森県	30	1,579	344
岩手県	26	723	243
宮城県	12	1,680	213
秋田県	29	2,569	322
山形県	2	16	5
福島県	9	280	49
茨城県	45	3,422	455
栃木県	52	5,240	834
群馬県	46	1,226	220
埼玉県	125	14,337	4,644
千葉県	97	8,371	1,185
東京都	129	7,720	1,063
神奈川県	85	1,979	532
新潟県	38	1,368	212
富山県	38	1,360	209
石川県	10	351	124
福井県	11	797	59
山梨県	4	184	45
長野県	34	1,673	538
岐阜県	58	2,129	321
静岡県	85	2,993	535
愛知県	115	6,690	1,260
三重県	51	12,987	356

県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
滋賀県	86	5,319	484
京都府	10	261	43
大阪府	51	1,578	341
兵庫県	219	2,701	783
奈良県	13	152	79
和歌山県	6	115	50
鳥取県	74	7,543	2,104
島根県	13	506	149
岡山県	34	1,745	405
広島県	53	1,924	310
山口県	13	179	47
徳島県	6	188	64
香川県	4	193	24
愛媛県	7	118	31
高知県	16	161	71
福岡県	86	2,682	850
佐賀県	28	1,634	615
長崎県	20	738	127
熊本県	21	1,196	280
大分県	40	1,616	248
宮崎県	13	1,148	149
鹿児島県	22	1,284	146
沖縄県	20	562	129
合計	2,013	113,920	21,478

○登録メンバー 学年内訳



○登録クラブ形態



■平成 28 年度 地域事務局登録一覧（47 都道府県 457 市区町村）

北海道	札幌市	函館市	旭川市	室蘭市	釧路市	北見市	網走市
	苫小牧市	伊達市	石狩市	羽幌町			

青森県	青森市	弘前市	八戸市	五所川原市	十和田市	平内町	外ヶ浜町
-----	-----	-----	-----	-------	------	-----	------

岩手県	盛岡市	宮古市	北上市	遠野市	釜石市	奥州市	雫石町
	岩泉町						

宮城県	仙台市	石巻市	気仙沼市	多賀城市	利府町	女川町
-----	-----	-----	------	------	-----	-----

秋田県	秋田市	横手市	大館市	由利本荘市	大仙市	にかほ市
-----	-----	-----	-----	-------	-----	------

山形県	酒田市	新庄市
-----	-----	-----

福島県	福島市	会津若松市	郡山市	いわき市	喜多方市	相馬市	二本松市
	伊達市	会津美里町					

茨城県	水戸市	日立市	土浦市	古河市	龍ヶ崎市	北茨城市	笠間市
	取手市	つくば市	ひたちなか市	守谷市	坂東市	神栖市	茨城町
	東海村	大子町					

栃木県	宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市	日光市	小山市
	真岡市	大田原市	矢板市	那須塩原市	さくら市	那須烏山市	下野市
	上三川町	益子町	茂木町	市貝町	芳賀町	壬生町	

群馬県	前橋市	高崎市	桐生市	伊勢崎市	太田市	沼田市	渋川市
	富岡市	安中市	みどり市	榛東村	下仁田町	片品村	川場村
	昭和村	みなかみ町	大泉町				

埼玉県	さいたま市	川越市	熊谷市	川口市	秩父市	所沢市	飯能市
	加須市	春日部市	狭山市	上尾市	草加市	越谷市	戸田市
	入間市	朝霞市	志木市	新座市	久喜市	八潮市	富士見市
	三郷市	坂戸市	幸手市	鶴ヶ島市	吉川市	ふじみ野市	三芳町
	小川町	寄居町	宮代町				

千葉県	千葉市	市川市	船橋市	木更津市	松戸市	野田市	茂原市
	成田市	佐倉市	習志野市	柏市	市原市	八千代市	我孫子市
	浦安市	印西市					

東京都	中央区	新宿区	江東区	品川区	世田谷区	中野区	杉並区
	豊島区	北区	荒川区	板橋区	練馬区	足立区	葛飾区
	江戸川区	八王子市	立川市	武蔵野市	三鷹市	青梅市	府中市
	調布市	町田市	小平市	東大和市	武蔵村山市	稲城市	

神奈川県	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	平塚市	鎌倉市	藤沢市
	小田原市	茅ヶ崎市	厚木市	大和市	綾瀬市		

新潟県	新潟市	長岡市	三条市	柏崎市	十日町市	糸魚川市	妙高市
	上越市	阿賀野市	佐渡市	南魚沼市	粟島浦村		

富山県	高岡市	魚津市	砺波市
-----	-----	-----	-----

石川県	金沢市	羽咋市	白山市	津幡町
-----	-----	-----	-----	-----

福井県	福井市	鯖江市	越前市	坂井市	永平寺町	若狭町
-----	-----	-----	-----	-----	------	-----

山梨県	甲府市	都留市
-----	-----	-----

長野県	長野市	松本市	上田市	岡谷市	飯田市	小諸市	伊那市
	茅野市	佐久市	千曲市	坂城町	飯綱町		

岐阜県	岐阜市	大垣市	多治見市	関市	恵那市	美濃加茂市	各務原市
	可児市	笠松町					

静岡県	静岡市	浜松市	沼津市	熱海市	三島市	富士宮市	島田市
	富士市	磐田市	焼津市	藤枝市	御殿場市	袋井市	下田市
	裾野市	湖西市	菊川市	牧之原市	川根本町		

愛知県	名古屋市	豊橋市	岡崎市	一宮市	瀬戸市	半田市	春日井市
	豊川市	津島市	豊田市	安城市	蒲郡市	江南市	小牧市
	稲沢市	日進市	東浦町	南知多町			

三重県	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	鈴鹿市	尾鷲市	鳥羽市
	志摩市	玉城町					

滋賀県	大津市	彦根市	長浜市	草津市	高島市	日野町	多賀町
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

京都府	京都市	宮津市	京丹後市	木津川市
-----	-----	-----	------	------

大阪府	大阪市	堺市	豊中市	泉大津市	高槻市	守口市	茨木市
	八尾市	寝屋川市	河内長野市	大東市	和泉市	箕面市	高石市
	東大阪市	交野市	阪南市				

兵庫県	神戸市	姫路市	尼崎市	芦屋市	伊丹市	宝塚市	篠山市
	たつの市						

奈良県	奈良市	天理市	桜井市	斑鳩町
-----	-----	-----	-----	-----

和歌山県	和歌山市	海南市	橋本市	有田市	御坊市	田辺市	新宮市
	紀の川市	岩出市	紀美野町	かつらぎ町	九度山町	高野町	湯浅町
	広川町	有田川町	美浜町	日高町	由良町	印南町	みなべ町
	日高川町	白浜町	上富田町	すさみ町	那智勝浦町	太地町	古座川町
	北山村	串本町					

鳥取県	鳥取市	米子市	倉吉市	若桜町	八頭町	三朝町	湯梨浜町
	琴浦町	北栄町					

島根県	松江市	浜田市	出雲市	益田市
-----	-----	-----	-----	-----

岡山県	岡山市	倉敷市	高梁市	浅口市	矢掛町
-----	-----	-----	-----	-----	-----

広島県	広島市	呉市	尾道市	福山市	大竹市	江田島市
-----	-----	----	-----	-----	-----	------

山口県	下関市	宇部市	山口市	萩市	岩国市	周南市	山陽小野田市
-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	--------

徳島県	徳島市	阿南市
-----	-----	-----

香川県	高松市	東かがわ市
-----	-----	-------

愛媛県	松山市	今治市	西条市
-----	-----	-----	-----

高知県	室戸市
-----	-----

福岡県	北九州市	福岡市	大牟田市	久留米市	飯塚市	柳川市	小郡市
	筑紫野市	春日市	大野城市	太宰府市	古賀市	朝倉市	

佐賀県	佐賀市	唐津市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	江北町
-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----

長崎県	長崎市	佐世保市	諫早市	大村市	平戸市	南島原市
-----	-----	------	-----	-----	-----	------

熊本県	熊本市	八代市	人吉市	荒尾市	水俣市	宇土市	上天草市
	天草市	益城町	山都町	芦北町	あさぎり町		

大分県	大分市	別府市	日田市	佐伯市	杵築市	宇佐市
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

宮崎県	宮崎市	都城市	延岡市	五ヶ瀬町
-----	-----	-----	-----	------

鹿児島県	鹿児島市	鹿屋市	指宿市	日置市	霧島市	奄美市	始良市
	大崎町	瀬戸内町					

沖縄県	那覇市	浦添市	沖縄市	宮古島市	金武町	与那原町	南風原町
	八重瀬町	竹富町					

●エコ活コンクール 受賞作品

■壁新聞部門

環境大臣賞



タイトル:「大好きな熊本のわき水、絶対に守りたい!!
~あきらめない 広西わき水プロジェクト~」
広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)
(熊本県益城町)

文部科学大臣賞



タイトル:「恵みを感じて! 守ろう! えひめの自然 Part2」
レインボーキッズ(愛媛県新居浜市)

日本環境協会賞



タイトル:「楽しいよ 上田の自然
上田エコクラブ一年の歩み」
上田エコクラブ(新潟県南魚沼市)

三井住友銀行賞



タイトル:「湖南小エコクラブ新聞
目指そう! 猪苗代湖 水質日本一!」
湖南エコクラブ(福島県郡山市)

早稲田大学賞



タイトル:「ケロケロカエル調査新聞X」
上津探検隊(島根県出雲市)

エコマーク賞



タイトル:「おんせん県 おおいた すごいぞ!
別府の温泉エネルギー発電!」
大平山友遊エコクラブ(大分県別府市)

幼児部門 「ミールケア・エコまる賞」



タイトル:「みどり&たいようグリーンキッズ」
緑と太陽の保育園グリーン・キッズ
(青森県十和田市)



タイトル:「エコ活動新聞」
清原ねいちゃーきっず(栃木県宇都宮市)

◆幼児部門について

保育園や幼稚園のクラブなど、メンバー全員が幼児のクラブの壁新聞は、別途幼児部門として審査を行い、上位2クラブに「ミールケア・エコまる賞」を授与しました。受賞した2クラブの活動場所にこどもエコクラブイメージキャラクター「エコまる」が向いて、子どもたちと一緒に楽しい体験プログラムを行う予定です。

■絵日記部門 優秀賞



タイトル:「キレイな冬鳥たち」
HEP21エコクラブ
山谷 耀子さん(青森県弘前市)



タイトル:「麦ふみ」
東峰エコキッズ
小野 龍之介さん(栃木県宇都宮市)



タイトル:「NO2簡易測定運動の大阪市と
青森県弘前市の結果で感じたこと」
せいわエコクラブ
水谷 香菜優さん(大阪府大阪市)



タイトル:「アユのつかみどり」
玉ーアクアリウム
天羽 悠月さん(兵庫県神戸市)

地球のワクワク！ 発見しよう

こどもエコクラブ

私が主役！ なかまと一緒に未来をつくる

こどもエコクラブは、子どもたちが地域で行う継続的な環境活動・学習のクラブです。仲間と一緒に、身近な場所で活動を積み重ねながら、自主的に人と環境とのかかわりを学びます。

■子どもたちの「ワクワク！」を応援します

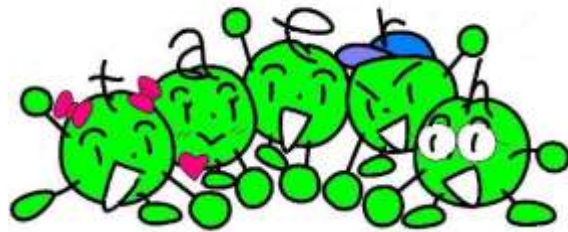
子どもたちが、自然への興味関心をきっかけに、自然を守ることが地球にとって大切なだけでなく、人間の生活にとっても大切であることを知る環境活動・学習を支援します。身の回りの自然からさまざまな発見をし、他の生物同様、生態系の一部である人間の生活に応用することができる。そんな能力を身につけながら育ちます。

■子どもたちの「生きる力」を育みます

子どもたちが、エコ活動の意味を本質的に理解できる機会をつくと共に、なかまと一緒に活動することを支援します。身の回りの出来事や定見から、現在の社会とのギャップを自ら見つけ出すことで、未来の理想的な社会と将来の自分を重ね合わせ、社会的な課題を解決できる大人になる。そんな大きな目標を心に宿して育ちます。

■子どもたちの「地域を愛する心」を培います

子どもたちの、身近な地域の身近な自然を大切に思う、思いやりの心を育むことを支援します。身の回りの自然からの発見を重ねることで、感受性豊かな子どもたちは、自分のまちのすばらしさを感じ、探求し、愛し、主体的に守ろうとする。そんなまちの博士へと育ちます。



公益財団法人日本環境協会

こどもエコクラブ全国事務局

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-16

馬喰町第一ビル 9 階

TEL 03-5643-6251 E-mail j-ecoclub@eic.or.jp